

見 積 実 例：A道路改良工事

実績方式による

- 工 事 概 要 ■
- 工 事 工 程 表 ■
- 機 械 工 程 表 ■
- 概 要 図 ■
- 特 記 仕 様 書 ■
- 内 訳 明 細 書 ■
- 単 価 表 ■
- 材 料 単 価 表 ■

■ 単 価 表 の 見 方 ・ 使 い 方 ■

1. ここに掲載した単価は、モデル工事を施工するのに必要な単価である。土木工事は1件ごとに各種条件が異なり相当の差額が生じる場合もあるので、利用に当たっては十分留意されたい。
2. 単価の基礎は関東一円の大手建設業者の平均的な施工単価として参考にされたい。
3. 内訳は、市場単価に見合う複合単価方式（下請経費を含む）としているので、一位代価表は作成しない。この資料は土木工事の積算合理化への足掛りとして参考に供するものである。
4. 主要材料の単価は、原則として「建設物価」最新号の八王子単価を利用したが、同誌に掲載のないものについては別途に調査して採用した。
5. 数量は実際の施工数量とし、割増し率等については実情を勘案して、必要分を計上した。

A道路改良工事

■ 工 事 概 要 ■

I 工事総覧

表1 工事総覧

工 事 名	A道路改良工事		
工事場所	東京都内西方30km近辺の都市〇〇市		
工 期	210日間(7箇月)		
発 注 者	〇〇市		
施 工 者	□□建設株式会社東京支店		
工事緒元	1. 施工延長	1,120m	
	2. 道路本線幅員	0.75~6.5~0.75	
		(計8.0m)	
	切土部(基点側) 延長	360m	
	切土高	最大5m	
	上り勾配(仕上り)	2.7%	
	盛土部(終点側) 延長	760m	
	盛土高	最大15m	
	下り勾配(仕上り)	1.4%	
	主要構造物		
	函渠工	1箇所	
	管渠工	15箇所	
	排水施設	U形側溝 771m	
		地下排水 678m	
	雑工事		
	取付け道路工	13箇所	
	取付け坂路工	3箇所	
	付替え水路工	4箇所	

本工事は、幅員8.0m(0.75m~6.5m~0.75m)の2車線道路を、延長 1,120mにわたり造成するものである。

ルートは、No.582+10 を工事起点とし、切土部(丘陵地帯)を上り勾配(仕上り 2.7%)でゆるやかな左カーブを 360m進み、その後、盛土部(水田地帯)に入り、下り勾配(仕上がり 1.4%)でゆるやかな右カーブを 760m進み、No.638で工事終点に達する。盛土部に入った付近に深い谷があるため、そこに横断函渠を設ける。その他の付帯構造物は施工延長全体に散在している。

盛土部の盛土には、切土発生土を流用すると同時に、2箇所の土取り場から採取した客土を充当する。

II 主要工事数量

主要工事数量は次のとおりである。

表2 主要工事数量

1. 土工		
1.1	切土工(粘性土)	14,500m ³ (地 山)
1.2	盛土工	
	流用土(粘性土)	13,460m ³ (仕上り)
	採取土(1)(砂質土)	21,240m ³ (地 山)
	採取土(2)(河川土)	2,720m ³ (地 山)
1.3	法面工	
	法面整正	3,030m ²
	種子吹付け(切土部)	3,030m ²
	筋 芝(盛土部)	7,390m ²
2. 路盤工		
2.1	下層路盤工(仕上りt=350)	8,325m ²
3. 管(函)渠工		
3.1	函渠工(B3000×H3000)	49m(1箇所)
3.2	管渠工	269m(15箇所)
	ヒューム管 D300	106m(6箇所)
	ヒューム管 D600	117m(7箇所)
	ヒューム管 D1,000	46m(2箇所)
4. 排水施設工		
4.1	U形側溝工	
	第1種U形側溝工(400×500×2000落し蓋式)	678m
		(切土部法尻部に設ける)
	第2種U形側溝工(ベンチフリューム500×320×2000)	93m
		(盛土部構造物付近法尻に設ける)
4.2	地下排水管工(高密度ポリエチレン管 φ200mm)	678m
		(第1種U形側溝の下に布設する)
4.3	集水柵工(750×750×850)	4箇所
5. 雑工事		
5.1	取付け道路工	563.2m ² (13箇所)
5.2	取付け坂路工	217m ² (3箇所)
5.3	第1号付替え水路工	
	ベンチフリューム(800×490×1,000)	123m(3箇所)
5.4	第2号付替え水路工	
	ベンチフリューム(500×320×2,000)	923m(1箇所)
5.5	境界杭工(120×120×900)	128本

Ⅲ 施工条件

- (1) 地形は起点側は丘陵地帯で一部には相当な傾斜地もあるが、終点側は水田地帯である。付近には人家も少ない山林田園地域である。
- (2) 採取土（砂質土）は 2.1km離れた土取場から、採取土（河川土）は 2.7km離れた河川土取場から搬入する。
- (3) 採取土を搬入するため、工事前仮設道路を（幅員6m、延長150m）を工事終点から現場間に設ける。
- (4) 盛土工部分の水田は乾田で、殆ど手を加えなくても建設機械が走行できるものとする。
- (5) 作業時間は午前8時から午後5時とし、土・日曜日及び祝日は休日とする。機械運転時間は6.5時間/日、月当たり稼働日数は土工が18日、構造土工を21日とする。
- (6) 工事基地（仮設建物用地）は、終点付近の現道沿いに民有地を借上げて設置する。
- (7) 本工事の施工に当っては〇〇市制定の土木工事共通仕様書に基づき実施するものとする

Ⅳ 工事の施工方法と手順

最初に準備、仮設建物、伐開除根、仮設道路等の仮設工事を実施した後に、直接工事に着手する。直接工事は、土工に先立ち、管（函）渠を設置する。管（函）渠が相当数設置された後、土工を開始する。排水施設の構造物や取付道路等の雑工事は、土工の進捗に伴い、並行して実施し、路盤工とともに終了させる。

最後に完了検査を受け、仮設建物の撤去と、跡片付けを終えて工事竣工となる。

Ⅳ-1 仮設工事

最初に工事基地として工事終点の現場交差点付近に借上げた民有地（30m×50m=1,500m²）を整地し、仮設建物、材料置場、給水、電力設備を設ける。同時に現場の伐開除根に着手し、工事終点から本線敷地内（水田部分）に仮道を設置し、土取場から採取した採取土を搬入するため、工事終点と現道の間に幅6m、延長150mの仮設道路を設ける。

（以上は最初の第1月目で施工する）

Ⅳ-2 直接工事

仮設工事に引続き直接工事に着手する。ただし、管（函）渠工は、仮設工事と並行して第1月の半ばから着手する。

(1) 管（函）渠工

管渠工は、工事終点寄り盛土部（水田地帯）から順次着手し、工事起点より切土部については土工が路床整正工まで終了したあと施工する。

函渠工は、第1月の下旬から着手する。床掘りはバックホウ（山積 0.8m³）で施工し、埋戻し及び残土処理は、ブルドーザ（普通15t）により本線内で行う。取付擁壁の基礎杭（RCφ300 L=7m）は、ポータブル杭打機（ラム重量3.5t）で打ち込む。躯体の構築は延長49mを2ブロックに分けて施工する。

(2) 雑工事

雑工事のうち、付替え水路146m（4箇所）は土工に先立って施工する。そのうち第1号水路 123m（3箇所）の掘削はバックホウ（山積0.45m³）で施工する。

取付け道路563m²（13箇所）及び取付坂路217m²は、土工の路体工が終わった時点で、順次人力で施工する。雑工事の最後に境界杭の建て込みを行う。

(3) 土工

土工はこの工事の主体を占める部分であるから、手順よく適切な機械により経済速度で、路体・路床を施工する。

この工事の土工は工事概要で触れたとおり、起点寄りの切土を終点寄りの盛土に流用し、不足分を客土により土取場から現場利用で終点側から盛土する。特に盛土部の路床材は河川土を搬入して造成する。（「土工一覧表」及び「平面図・縦断面図」参照）

① 切土工（流用盛土）

ア. 最初にNo. 597付近において切土を開始する。発生土（粘性土）3,200m³はブルドーザ（普通21t）1台で掘削・押し・集土（平均運搬距離50m）し、盛土部に流用した後に、敷均し締固める。

イ. 次いで (ア) の部分より起点側寄り切土を行う。発生土 (粘性土) 11,300m³は、ブルドーザ (普通21t) 1台で掘削・押土・集土 (運搬距離20m) し、それをバックホウ (山積 0.8m³) 2台でダンプトラック (10t積) に積み込み、盛土部に運搬 (運搬距離 600m) した後に、ブルドーザ (普通21t) 2台で敷均し締め固めを行う。流用盛土は路床部まで施工する。

② 盛土工

ア. 切土流用盛土工については、前項 (ア) 切土工 (流用盛土) を参照のこと。

イ. 採取土 (砂質土) 21,240m³は、2.1km離れた土取場から搬入する。土取場でバックホウ (山積 0.8m³) 2台を使用し、ダンプトラック (10t積) に積み込み、現道から仮設道路を通り、終点側から起点側に向かい順次まき出す。まき出された客土は、路体部までブルドーザ (普通21t) 2台を

使用して、敷均し締め固めを行う。

ウ. 採取土 (河川土) 2,720m³は、盛土部 (延長 420m) の路床材として 2.7km離れた河川土取場から搬入する。河川土取場では、トラクタショベル (クローラ型 1.4m³) 1台を使用して、ダンプトラック (10t積) に積み込み、仮設道路を通り終点側から起点側に向かい路体部の上部に路床材としてまき出し、ブルドーザ (普通21t) で敷き均し、タイヤローラ (8~20t) 1台で締め固める。

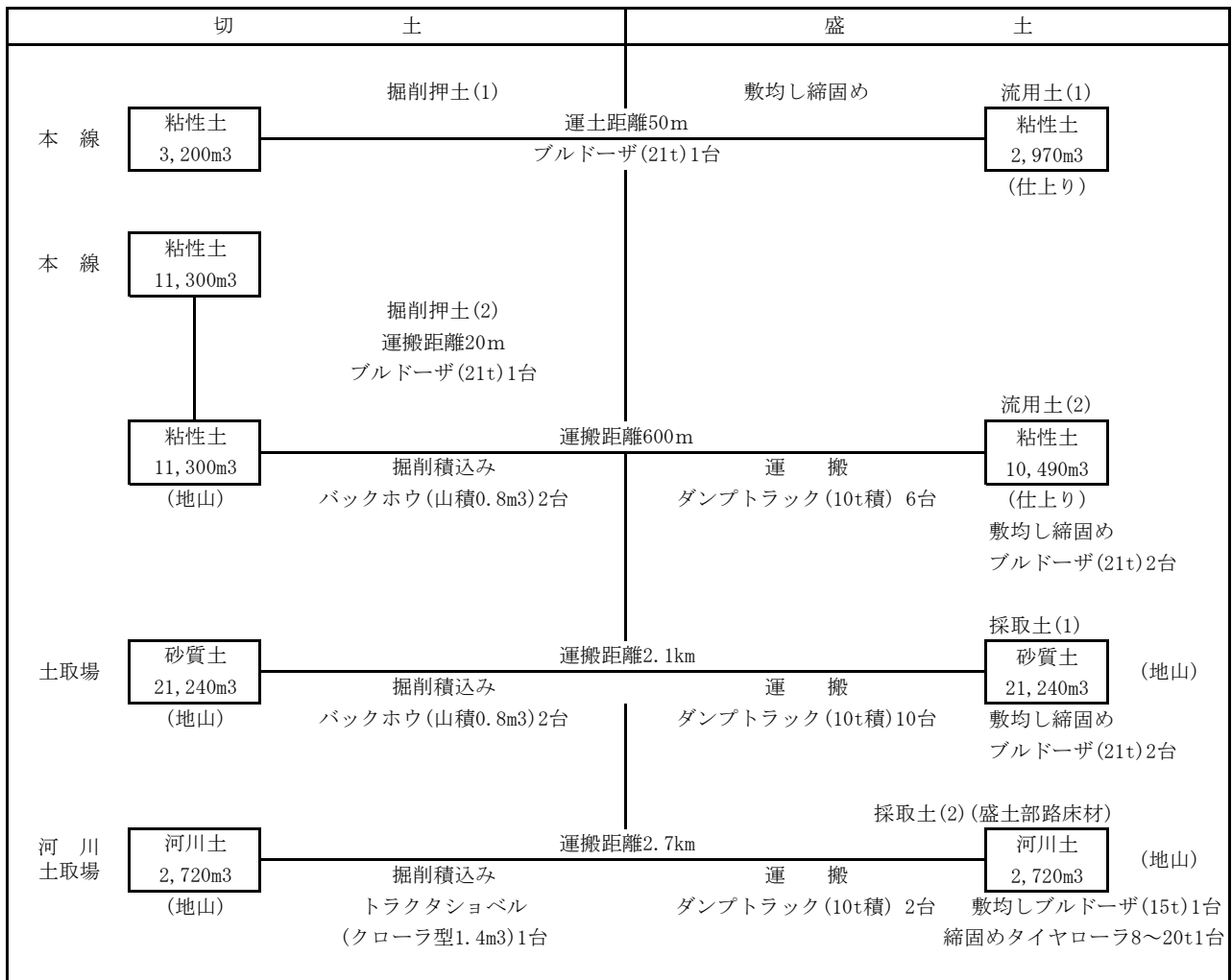
③ 法面工

本線の工事進捗に伴い、切土法面に種子吹付けを、盛土法面に筋芝を施工する。

(4) 路盤工

路床工が終了した後に、路床上部に下層路盤 (仕上り t=350) 8,325m²を全区間にわたって施工する。

土 工 一 覧 表



路床整正をモータグレーダ(3.1m)1台で、同じく路床締固めをタイヤローラ(8~20t)1台で行う。そして路盤材の再生クラッシュラン(RC40-0)3,370m³をモータグレーダ(3.1m)により敷き均し、タイヤローラ(8~20t)1台とマカダムローラ(10~12t)1台を使用して締め固める。

(5) 排水施設工

① 切土の法尻に設ける第1種U形側溝(400×500×2,000落し蓋式)678mは、土工の進捗に伴い、逐次その下部に接して設置する地下排水施設(高密度ポリエチレン管 φ200)と同時に施工する。

バックホウ(山積0.45m³)1台を使用して掘削を行い、同時にラフテレーンクレーン(油圧式4.9t吊)2台を使用して、側溝を布設する。

② 盛土部法尻の構造物付近に第2種U形側溝(500×320×2,000ベンチフリューム)93mを前項①と同様の手順で、盛土工の終了時に合わせて随時、施工する。

③ ます工

U形側溝、地下排水施設を施工した後に現場打集水ます4箇所を、人力施工する。

IV-3竣工

直接工事終了後、完成検査を受け仮設建物を撤去し跡片付けを終了させて竣工となる。

A 道路改良工事

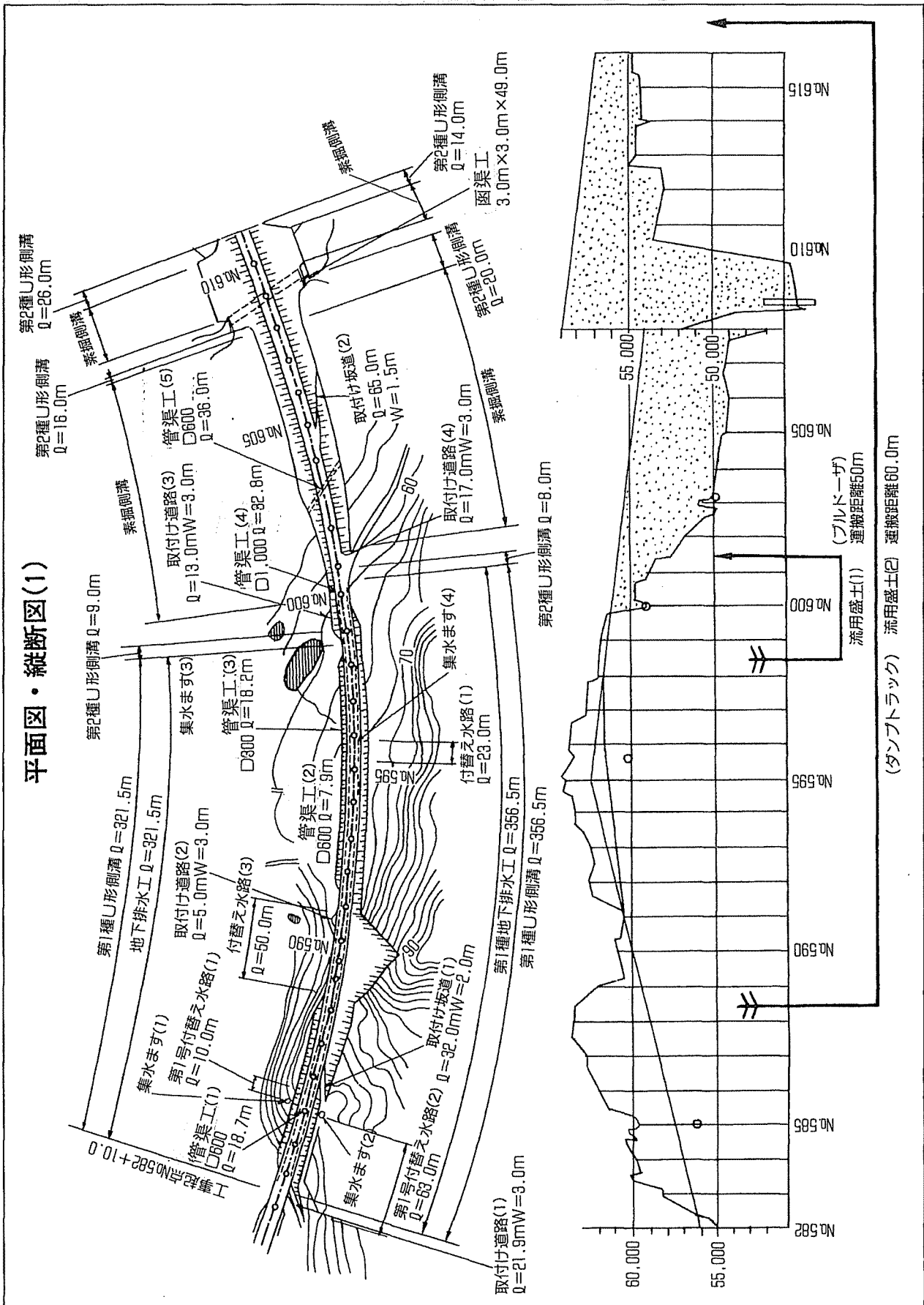
■ 工 事 工 程 表 ■

工 種	種 別	細 別	1	2	3	4	5	6	7
準備工	準備跡片付		■						■
	伐開除根		■	■					
仮設工	仮設道路		■						■
	仮設建物		■						■
土 工	切 土			■	■	■			
	盛土工	流用土		■	■	■			
		採取土(土 砂)				■	■	■	
		採取土(河川土)					■	■	■
	法面工	種子吹付け						■	■
筋芝				■	■	■	■	■	
路盤工	下層路盤						■	■	
管(函)渠工	函渠工			■	■				
	管渠工		■	■					
排水施設工	U形側溝					■	■		
	地下排水施設				■	■			
	集水ます						■	■	
雑工事	取付け道路					■	■	■	■
	取付け坂路					■	■	■	■
	第1号付替水路			■					
	第2号付替水路			■					
	境界杭								■

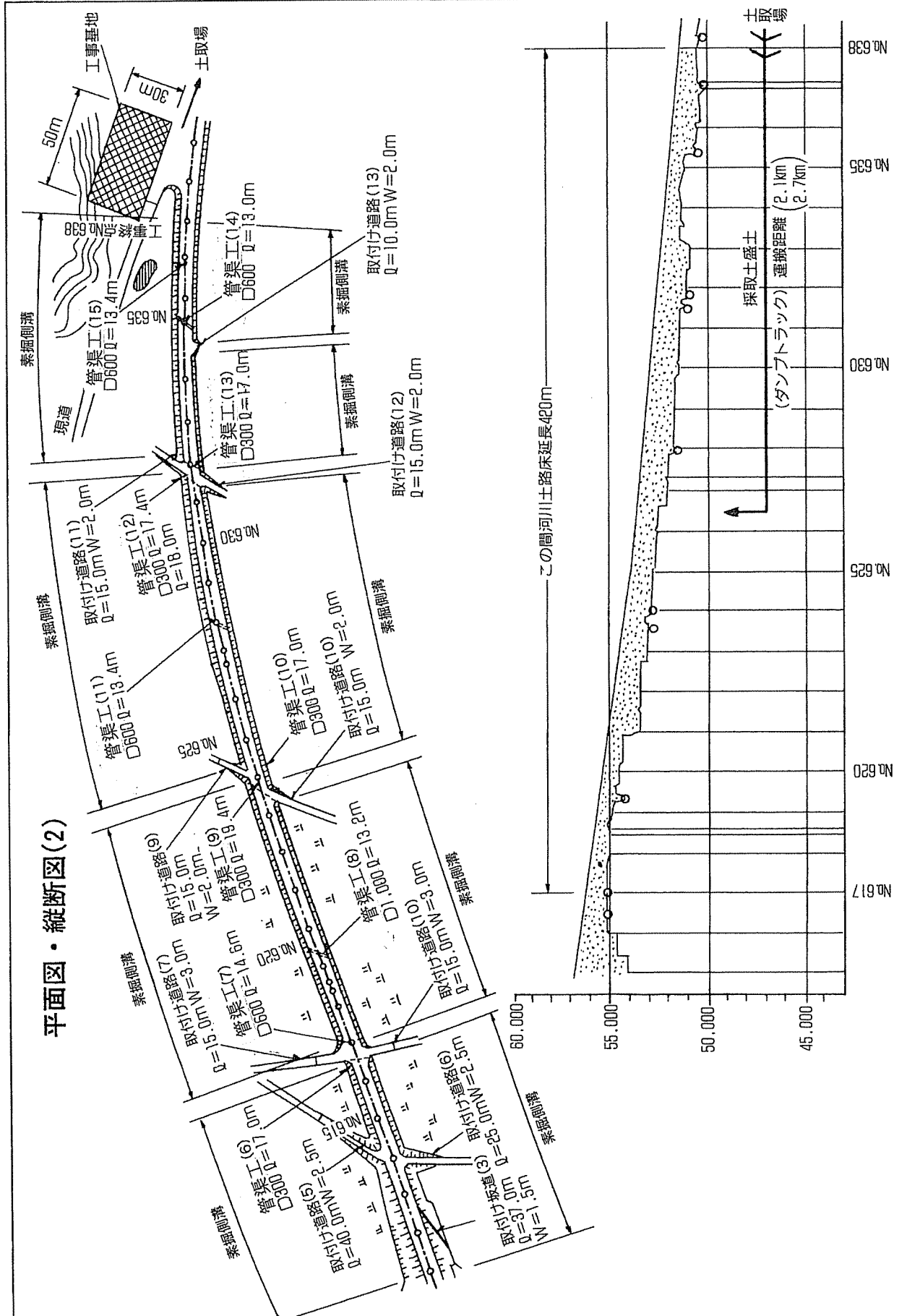
A道路改良工事

■ 機械工程表 ■

機械名	規格	1	2	3	4	5	6	7
ブルドーザ	15t級	■	■	■	■	■	■	
ブルドーザ	21t級		■	■	■	■	■	
バックホウ	山積0.45m3		■		■			
バックホウ	山積0.80m3	■	■					
トラクタショベル	クローラ型1.4m3			■	■	■		
ダンプトラック	10t積			■	■	■		
モータグレーダ	3.1m						■	■
タイヤローラ	8~20t			■	■	■	■	■
マカダムローラ	10~12t						■	■
ラフテレーンクレーン	油圧式 4.9t吊		■		■	■		
ラフテレーンクレーン	油圧式10t吊		■					
振動ローラ	2.7t		■					
ポータブル杭打機	ラム重量3.5t		■					
ランマ	60~100kg		■	■				
ベルトコンベア	ポータブル7m		■					

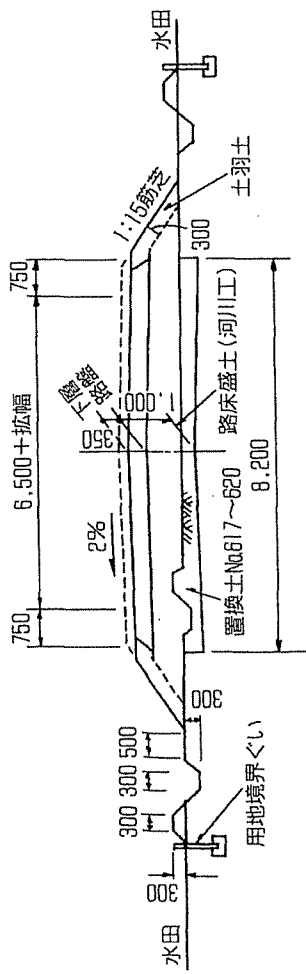


平面図・縦断面図(2)

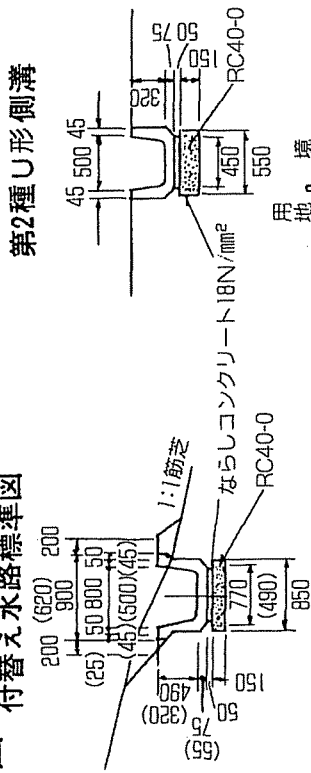


標準横断面図・構造図

標準横断面図(1)No.617~638盛土区間

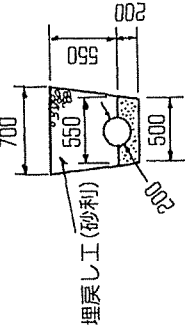


付替え水路標準図

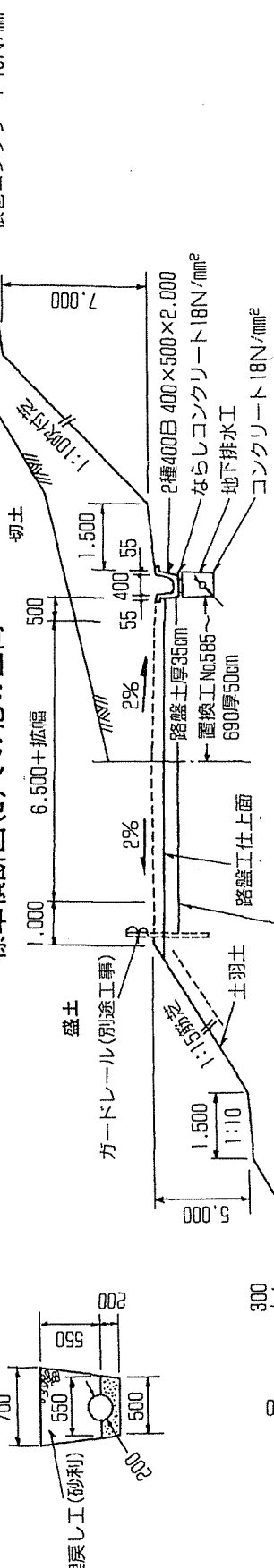


(注) 1号付替え水路
()は2号付替え水路

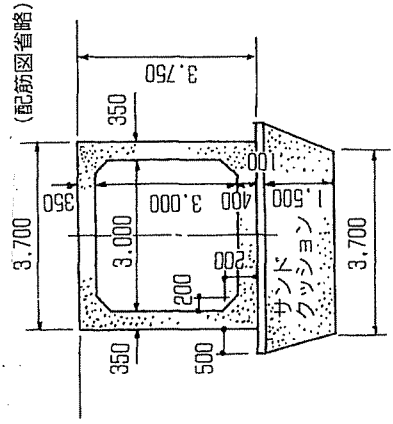
地下排水工



標準横断面図(2)その他の区間

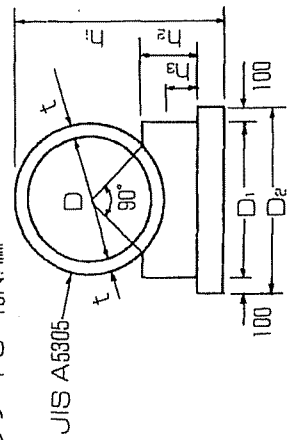


函渠工



路床工仕上面支持力設計CBR 3以上K30>8kg/cm²

管渠



記号	寸法表 (単位mm)							
	D	t	D ₁	D ₂	h ₁	h ₂	h ₃	h _a
□300	300	30	500	700	610	160	100	150
□600	600	50	750	950	1,000	260	150	150
□1000	1,000	82	1,200	1,400	1,564	360	200	200

A 道路改良工事

■ 特記仕様書 ■

本工事の施工に当っては、当市土木部制定の土木工事共通仕様書に基づき実施するものとする。
同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特記仕様書によるものとする。

1. 材料

- 1-1 材料見本又は資料の提出、試験及び検査見本、又は資料の提出を必要とする材料は下表の通りとする。

表1 材料見本又は資料の提出、試験及び検査

材 料 名	項 目		方法・内容
	材質	計上寸法 重 量	
ヒューム管	資料	検査	資料はメーカー成績表
U形側溝	資料	検査	資料はメーカー成績表
ベンチフリューム	資料	検査	資料はメーカー成績表
止水版	資料	検査	資料はメーカー成績表
R C 杭	資料	検査	資料はメーカー成績表

- 1-2 石材及び骨材

表2 石材及び再生骨材

名 称	規 格	使 用 箇 所
再生砕石	R C 40-0	路盤工 栗石工の目潰し U形側溝及び付替え水路 集水桝等の 基礎用砕石

- 1-3 鉄筋

鉄筋は J I S G 3 1 1 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 S D 2 9 5 A とする。使用に当っては規格証明書を提出し、監督職員の承諾を得るものとする。

- 1-4 セメント及びセメント混和材料

- 1) 使用するセメントは、J I S R 5 2 1 0 普通ポルトランドセメントとする。
- 2) 混和材料の種類は、監督員の承諾をうけて使用する。

- 1-5 R C 杭

R C 杭は、J I S A 5 7 3 2 遠心力鉄筋コンクリート杭を使用する。

- 1-6 芝

芝は栽培野芝とし、監督員の承諾を受けて使用する。

2. 施工一般

- 2-1 基礎工

- 1) 杭の打込み中は監督員の立会いを求めるとともに、打込沈下量の資料を速やかに提出する。
- 2) 杭の打込み終了後は、監督員の承諾を得なければ次の作業を進めてはならない。

2-2 管渠工

- 1) 側溝工は管渠工に準ずるものとする。
- 2) 函渠工の打ち継目及び配置については事前に監督員と協議し、伸縮継手には瀝青繊維質目地板（厚10mm）を使用し、漏水防止として止水版（幅200mm、厚6mm）を使用する。なおその種類については、監督員の承諾を受ける。
- 3) 基礎工については、床掘完了後、監督員の検査を受け、その指示によらなければ次の作業を進めてはならない。

2-3 種子吹付け工

種子吹付けの配合は下表を標準として、吹付け時期によって配合を変更するときは、監督員の承諾を得る。

表3 種子吹付け材料の配合 100m²当り

材 料 名	品 種	数 量
種 子	ウィーピングラブグラス	0.2kg
種 子	ケンタッキー31フェニックス	1.6kg
種 子	レッドトップ	0.2kg
肥 料	粒状固形	15.0kg
保 護 材		100.0m ²

2-4 境界杭工

- 1) 杭のコンクリート材令28日における圧縮強度は24N/mm²以上とし、杭頭部15cmは赤又は朱色のペイントを塗布する。
- 2) 杭は原則として頭部を地上30cm程度露出するものとし、設置後容易に抜けないよう、根がらみコンクリート（図面参照）を施す。

3. コンクリート及びモルタル

本工事に使用するコンクリート、モルタルの配合を表4・表5に示す。使用に先立ち実施配合表を監督員に提出し、承諾を得る。

表4 コンクリートの配合

呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	W/C (%)	セメント の 種 類	使用目的
21	8±2.5	50	高炉	函 渠
18	8±2.5	55	高炉	擁 壁 管 渠
18	5±2.5	75	高炉	U形側溝 均しコン 境 界 杭

表5 モルタルの配合 10m³当り

セメント	フライアッシュ	砂	W/C
5420kg	542kg	10.4m ³	40%

4. 土工

4-1 土工の定義

- 1) 切土数量の検測は地山体積（m³）盛土数量、採取土数量の体積は出来形体積（m³）による。
- 2) 設計図面と現地盤線が相違していることを発見した場合は、監督員の立会いをうけ、縦横断測量を行ってその結果を監督職員に提出しなければならない。また契約分類の相互間の境界線が、図面と相違していることを発見した場合についても同様とする。
- 3) 伐開除根等により設計図面の地盤線が変化し、計画作業土工量に大幅な差が生じた場合は、その作業が終了した段階で、監督員の立会いのもとに測量し、その結果を監督員に提出しなければならない。

4-2 盛土材料

本工事に使用する盛土材料を表6に示す。

表6 盛土材料

種別	土質	採取地及び運搬経路
盛土(1)	粘性土	切土流用、場内ブルドーザ ・ダンプトラック運搬
盛土(2)	砂質土	2.1km先土取場採取 仮設道路～現道～現場内
盛土(3)	河川土	2.7km先河川土取場採取 現道～現場内
埋戻し	砂質土	構造物残土

4-3 伐開除根

- 1) 伐開除根及び転石除去後の凹部は良質土をもって埋め、在来地盤と同様に締め固める。
- 2) かん木及び抜根した樹根等は、監督員の指示する方法で処分する。

4-4 運搬

- 1) 採取土の運搬に当り、仮設道路（幅員6.0m、延長150m）を造成し、工事終了後も撤去しない。
- 2) 土取場から工事現場までの間の現道は、監督員の指示により再生砕石（RC-40）延べ270m³を使用して道路補修を行う。
また再生砕石は、トラックボディ検収とする。なお路面補修は1箇月に4回以上行い、再生砕石の量は、監督員の指示、承諾をうけたものの数量によって設計変更の対象とする。

4-5. 道路土工

- 1) 路床盛土のうちNo. 617～No. 638間は、指定の河川土を使用して築造する。
- 2) 路床の最終仕上げを行う前に、路床面全体にわたり、少なくとも1回、タイヤローラ、その他承諾をうけたゴム輪車両で、監督員立会いのもとにプルフローリングテストを行わなければならない。
- 3) プルフローリングテストに使用するタイヤローラまたはその他承諾をうけたゴム輪車両の単輪の負荷は2 t以上とする。
- 4) プルフローリングテストの結果発見された路床不良部分は、監督員の指示に従い取除き、施工し直さなければならない。

5. 路盤工

5-1. プルフローリングテスト

- 1) 路盤工は最終仕上げ後、路盤表面全体にわたり、少なくとも1回、承諾をうけたゴム輪車両で、監督員立会いのもとにプルフローリングテストを行わなければならない。
- 2) プルフローリングテストの結果発見された不良部分は、監督員の指示に従い取除き、施工し直さなければならない。

5-2. 数量の検測

数量は、完成された表面積により検測する。

5-3. 再生砕石及び再生砕石路盤工

1) 粒度

下層路盤材料は、再生砕石（RC-40）を使用し粒度は表7を標準とする。

表7 下層路盤材料

フルイの種類	37.5	19	4.75	2.36
フルイ通過量(%)	100～95	80～50	40～15	25～5

2) 敷均し

路盤工の仕上げは2層仕上げとし、仕上げ厚は主任監督員の指示によるものとする。

6. 残土処分

6-1. 管（函）渠工・排水施設工・雑工事等で発生する残土は、建設残土発生抑制のため、現場内で流用することを原則とする。ただし、これにより難く、場外処分を行う場合は、監督員と協議するものとする。

6-2. 掘削土が流用に適さない場合は監督員と協議し、改良処理するものとする。

6-3. 改良処理に要する費用は、別途設計変更の対象とする。

6-4. 再生資源利用計画書及び再生資源促進計画書を施工計画書と同時に提出すると共に、関東地方建設副産物再生利用連絡協議会事務局まで提出及び送付するものとする。なお、この場合、「再生資源の利用促進に関する法律」に定める規模以上の場合とする。再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の様式については、監督員の指示による。

6-5. 指定副産物の運搬・処理・処分に要する費用は、別途設計変更の対象とする。

A 道路改良工事

■ 内訳明細書 ■

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
直接工事費				式	1.0		116,461,742
1. 土工				式	1.0		56,048,910
	1.1 切土工			式	1.0		11,750,400
		土 砂 切 土	粘 性 土	m3	14,500.0	810	11,750,400
	1.2 盛土工			式	1.0		32,604,860
		流 用 土	切土流用	m3	13,460.0	298	4,017,100
		採 取 土 (1)	砂質土	m3	21,240.0	1,185	25,176,880
		採 取 土 (2)	河川土	m3	2,720.0	1,254	3,410,880
	1.3 法面工			式	1.0		11,693,650
		法 面 工		m2	10,420.0	1,122	11,693,650
2. 路盤工				式	1.0		9,072,225
	2.1 下層路盤工			式	1.0		9,072,225
		下 層 路 盤	仕上げ厚 t=350	m ²	8,325.0	1,090	9,072,225
3. 管(函)渠工				式	1.0		28,391,772
	3.1 函渠工			式	1.0		21,318,059
		床 堀	普通土 深3.5m	m3	851.0	1,733	1,474,976
		埋 戻 し	ブルドーザ押土転圧	m3	152.0	598	90,896
		サントマツト		m3	309.0	9,600	2,966,509
		均 し コ ン ク リ ー ト	18N/mm2-8-25 厚10cm	m3	23.0	18,400	423,263
		型 枠 工	鋼製	m2	860.0	5,916	5,087,800
		枠 組 支 保 工	鋼製	空m3	433.0	2,010	870,040
		鉄 筋 工	SD295A D13~D16mm	t	21.0	107,900	2,266,000
		軀 体 コ ン ク リ ー ト	21N/mm2-8-25	m3	243.0	21,630	5,255,002
		擁 壁 ・ 水 路 コ ン ク リ ー ト	18N/mm2-8-25	m3	55.5	21,520	1,194,112
		足 場 工	1ヶ月間使用 転用2回	空m3	551.0	1,550	854,950
		目 地 材 工	瀝青繊維系 厚10cm	m2	6.0	2,300	13,800
		止 水 板 工	FF200mm×6mm	m	13.4	2,230	29,882
		基 礎 ぐ り 石 工	150~200	m3	5.0	6,841	34,205
		基 礎 杭 工	RC φ300 L=7,000	本	20.0	37,830	756,624
	3.2 管渠工			式	1.0		7,073,713
		管 渠	D300 90°	m	106.0	11,120	1,178,835
		管 渠	D600 90°	m	117.0	27,090	3,169,838
		管 渠	D1000 90°	m	46.0	59,240	2,725,040

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
4. 排水施設工				式	1.0		14,400,036
	4.1 U型側溝工			式	1.0		11,361,634
		第1種U型側溝	400×500×2000 落蓋式	m	678.0	15,340	10,398,934
		第2種U型側溝	500×320×2,000 フリューム	m	93.0	10,350	962,700
	4.2 地下排水工			式	1.0		2,980,012
		地下排水工	有孔高密度ポリエチレン管 φ200	m	678.0	4,395	2,980,012
	4.3 集水ます工			式	1.0		58,390
		現場打ち集水ます	750×750×850	箇所	4.0	14,600	58,390
5. 雑工事				式	1.0		6,578,649
	5.1 取付道路工			式	1.0		2,534,400
		路盤・管渠工一式		m2	1.0	4,500	2,534,400
	5.2 取付坂道工			式	1.0		1,193,500
		路盤・管渠工一式		m2	217.0	5,500	1,193,500
	5.3 第1号付替え水路工			式	1.0		1,915,498
		ハッチフリーム布設	プレキャスト 800×490×1,000	m	123.0	15,570	1,915,498
	5.4 第2号付替え水路工			式	1.0		238,931
		ハッチフリーム布設	プレキャスト 500×320×1,000	m	23.0	10,390	238,931
	5.5 境界ぐい工			式	1.0		696,320
		境界ぐい建込み	旧建設省型 RC120×120×900	本	128.0	5,440	696,320
6. 仮設工				式	1.0		1,970,150
共通仮設費							21,689,292
7. 運搬費				式	1.0		2,504,700
8. 準備費				式	1.0		6,210,000
9. 役務費				式	1.0		2,531,760
10. 安全費				式	1.0		2,597,382
11. 技術管理費				式	1.0		2,150,000
12. 當繕費				式	1.0		5,695,450
純工事費				式	1.0		138,151,034
10. 現場管理費	以下別途			式	1.0		¥¥, ¥¥¥, ¥¥¥
工事原価							¥¥¥, ¥¥¥, ¥¥¥
11. 一般管理費等				式	1.0		¥¥, ¥¥¥, ¥¥¥
工事価格							¥¥¥, ¥¥¥, ¥¥¥
12. 消費税相当額			工事価格の5.0%	式	1.0		¥¥, ¥¥¥, ¥¥¥
工事費計							¥¥¥, ¥¥¥, ¥¥¥

A 道路改良工事

■ 単価表 ■

名 称	規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要
-----	-----	----	----	----	-----	-----

1. 土 工

1.1 切土工

土砂切土	粘性土	m3	14,500.0	810	11,750,400	
ブルドーザ掘削押土(1)	21t級 50m	m3	3,200.0	392	1,254,400	
ブルドーザ掘削押土(2)	21t級 20m	m3	11,300.0	196	2,214,800	
バックホ掘削積込	山積0.8m3	m3	11,300.0	260	2,938,000	
ダンプトラック運搬	10t積L=600m	m3	11,300.0	430	4,859,000	
排水処理その他	主として人力による	式	1.0	484,200	484,200	

1.1 切土工

計

11,750,400

1.2 盛土工

仮設道路、現道補修は仮設費に計上

なお、ロードマット等が必要な場合は別途計上する。

流用土	切土流用	m3	13,460.0	298	4,017,100	
ブルドーザ敷均し転圧	21t級	m3	13,460.0	280	3,768,800	
排水処理その他	主として人力による	式	1.0	248,300	248,300	
採取土(1)	砂質土	m3	21,240.0	1,185	25,176,880	
採取地山代	必要に応じて計上	m3	21,240.0	0	0	
バックホ掘削積込	山積0.8m3	m3	21,240.0	240	5,097,600	
ダンプトラック運搬	10t車 運搬距離2.1km+場内0.5km	m3	21,240.0	617	13,105,080	
ブルドーザ敷均し転圧	21t級	m3	21,240.0	280	5,947,200	
ダンプトラック誘導その他		式	1.0	1,027,000	1,027,000	
場内道路補修	必要に応じて計上	式	1.0	0	0	
採取土(2)	河川土	m3	2,720.0	1,254	3,410,880	
河川産出物採取料		m3	2,720.0	0	0	
トラクターショベル掘削積込	クローラー式山積1.4m3	m3	2,720.0	250	680,000	
ダンプトラック運搬	10t積 運搬距離2.7km+場内0.5km	m3	2,720.0	630	1,713,600	
ブルドーザ敷均し	15t級	m3	2,720.0	180	489,600	
タイヤロー転圧	8~20t	m3	2,720.0	133	361,760	
ダンプ誘導その他		式	1.0	165,920	165,920	
場内道路補修	必要に応じて計上	式	1.0	0	0	

1.2 盛土工

計

32,604,860

名 称	規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要
-----	-----	----	----	----	-----	-----

1.3 法面工

法面工		m2	10,420.0	1,122	11,693,650	
法面整形工		m2	3,030.0	670	2,030,100	
種子吹付け		m2	3,030.0	165	499,950	
筋芝		m2	7,390.0	1,240	9,163,600	

1.3 法面工	計	11,693,650
1 土工	合計	56,048,910

2. 路盤工

2.1 下層路盤工

下層路盤	仕上げ厚 t=350	m2	8,325.0	1,090	9,072,225	
路床整正工	モータクレータ	m2	8,325.0	60	499,500	手元共
路床転圧工	タイヤローラ 8~20t, マカダムローラ10~12t	m2	8,325.0	50	416,250	
再生クラッシュラン	RC-40	m3	3,700.5	1,500	5,550,750	
下層路盤材敷均し	モータクレータ	m2	8,325.0	153	1,273,725	
下層路盤材転圧	タイヤローラ 8~20t, マカダムローラ10~12t	m2	8,325.0	160	1,332,000	手元共

2.1 下層路盤工	計	9,072,225
2 路盤工	合計	9,072,225

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

3. 管（函）渠工

3.1 函渠工

床堀	普通土 深3.5m	m3	851.0	1,733	1,474,976	
機械掘削	バックホウ等使用	m3	681.0	500	340,500	床堀量×80%
人力掘削 床付け共	ベルトコンベア損料等	m3	170.0	5,500	935,000	床堀量×20%
残土処理	フルトナー 15t級 盛土敷きならし転圧共	m3	699.0	284	198,516	
水替工	必要に応じて計上	式	1.0	960	960	
埋戻し	フルトナー 15t級 フルトナー押土転圧	m3	152.0	598	90,896	
サトマット		m3	309.0	9,600	2,966,509	
砂 荒目	309m3×1.25（変化率）	m3	386.0	5,400	2,084,400	
人力敷均し		m3	309.0	1,850	571,650	
ベルトコンベア運転	5台×7日 運転経費共	台日	35.0	3,200	112,000	
振動ロー運転	1台×7日 運転経費共 2.7t	台日	7.0	28,117	196,819	
砂等小運搬	必要に応じて計上	式	1.0	0	0	
水替工	必要に応じて計上	式	1.0	1,640	1,640	
均しコンクリート	18N/mm2-8-25 厚10cm	m3	23.0	18,400	423,263	
生コンクリート	18N/mm2-8-25 23m3×1.06（割増率）	m3	24.4	11,700	285,480	
コンクリート打設工	小運搬（20m）含む	m3	23.0	4,200	96,600	
型枠工	材工共	m2	10.5	3,800	39,900	
足場工	必要に応じて計上	掛m2	0.0	0	0	
雑材工		式	1.0	1,283	1,283	
型枠工	鋼製	m2	860.0	5,916	5,087,800	
型枠材損料・補修費	セパレータ単管 フォームタイ 木コン 剥離材含む	m2	860.0	1,230	1,057,800	補助枠材共
組立解体		m2	860.0	4,500	3,870,000	
運搬費 大型トラック	倉庫～現場～倉庫 大型車	台	2.0	40,000	80,000	
雑材工		式	1.0	80,000	80,000	
枠組支保工	鋼製	空m3	433.0	2,010	870,040	
損料	角材等含む	空m3	433.0	650	281,450	
組立解体	補助枠加工 小運搬共	空m3	433.0	1,230	532,590	
運搬費	倉庫～現場～倉庫 小型車	台	2.0	28,000	56,000	

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工	SD295A D13～D16mm	t	21.0	107,900	2,266,000	
異形棒鋼	21×1.03 (割増率)	t	21.6	64,000	1,382,400	
加工組立	結束線、スベークロック共	t	21.0	42,000	882,000	
雑材工		式	1.0	1,600	1,600	
躯体コンクリート	21N/mm2-8-25	m3	243.0	21,630	5,255,002	
生コンクリート	243m3×1.02 (割増率)	m3	247.9	11,900	2,950,010	
コンクリート打設工	バンプレタ損料共	m3	243.0	8,134	1,976,562	
ポンプ車運転	90～110m3/h	日	4.0	70,960	283,840	
雑材工		式	1.0	44,590	44,590	
擁壁・水路コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	55.5	21,520	1,194,112	
生コンクリート 18N/mm2-8-25	55.5m3×1.02 (割増率)	m3	56.6	11,700	662,220	
コンクリート打設工	バンプレタ損料共	m3	55.5	8,134	451,437	
ポンプ車運転	90～110m3/h	日	1.0	70,960	70,960	
雑材工		式	1.0	9,495	9,495	
足場工	1ヶ月間使用 転用2回	空m3	551.0	1,550	854,950	
足場材損料	単管足場 足場板 止め具含む	空m3	551.0	450	247,950	
組立解体		空m3	551.0	1,000	551,000	
運搬費	倉庫～現場～倉庫 小型車	台	2.0	28,000	56,000	
目地板工	瀝青繊維系 厚10cm	m2	6.0	2,300	13,800	材工共
止水板工	FF200mm×6mm	m	13.4	2,230	29,882	材工共
基礎ぐり石工	150～200	m3	5.0	6,841	34,205	
割ぐり石	150～200	m3	5.0	3,300	16,500	
再生クラッシュラン	RC40-0 5m3×0.25	m3	1.25	1,500	1,875	
材料小運搬	必要に応じて計上	m3	6.3	0	0	
敷均し転圧工	ランマ損料共	m3	5.0	2,646	13,230	
雑材工		式	1.0	2,600	2,600	
基礎杭工	RCφ300 L=7,000	本	20.0	37,830	756,624	
RC杭	RCφ300 L=7,000	本	20.0	21,700	434,000	
杭打設工	ボータブル杭打ち機使用	m	140.0	1,800	252,000	
足場段取費	必要に応じて計上	式	1.0	0	0	
杭頭処理		本	20.0	2,400	48,000	
杭間さらい		本	20.0	950	19,000	
雑材工		式	1.0	3,624	3,624	

3.1 函渠工

計

21,318,059

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

3.2 管渠工

管渠	D300 90°	m	106.0	11,120	1,178,835	
掘削・埋戻し・残土処理	0.29m ³ /m	m ³	30.7	5,500	168,850	
基礎ぐり石	目潰し材含む	m ³	11.1	6,560	72,816	材工共
型枠工		m ²	33.9	3,800	128,820	材工共
基礎コンクリート工	18N/mm ² -8-25	m ³	7.3	16,000	116,800	材工共
ヒューム管	φ300 L=2,000	本	53.0	7,830	414,990	
ヒューム管布設工	モルタル等共	m	106.0	2,500	265,000	
雑材工		式	1.0	11,559	11,559	
管渠	D600 90°	m	117.0	27,090	3,169,838	
掘削 埋戻し 残土処理	0.65m ³ /m	m ³	76.0	5,400	410,400	
基礎ぐり石	目潰し材含む	m ³	17.0	6,560	111,520	材工共
型枠工		m ²	60.8	3,822	232,378	材工共
基礎コンクリート工	18N/mm ² -8-25	m ³	18.3	16,000	292,800	材工共
ヒューム管	φ600 L=2,430	本	48.0	27,700	1,329,600	
ヒューム管	φ600 L=1,215	本	1.0	19,100	19,100	
ヒューム管布設工	モルタル等共	m	117.0	4,800	561,600	
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊 燃料 運転手(特殊)共	日	6.2	29,600	183,520	
雑材工		式	1.0	28,920	28,920	
管渠	D1000 90°	m	46.0	59,240	2,725,040	
掘削 埋戻し 残土処理	1.6m ³ /m	m ³	73.6	5,400	397,440	
基礎ぐり石	目潰し材含む	m ³	13.0	6,560	85,280	材工共
型枠工		m ²	35.0	3,800	133,000	材工共
基礎コンクリート工	18N/mm ² -8-25	m ³	16.2	16,000	259,200	材工共
ヒューム管	φ1000 L=2,430	本	19.0	74,000	1,406,000	
ヒューム管布設工	モルタル共	m	46.0	6,900	317,400	
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型10t吊 燃料 運転手(特殊)共	日	3.2	32,000	102,400	
雑材工		式	1.0	24,320	24,320	

3.2 管渠工
3 管(函)渠工

計
合計

7,073,713
28,391,772

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

4. 排水施設工

4.1 U型側溝工

第1種U型側溝	400×500×2000 落し蓋式 537kg/個	m	678.0	15,340	10,398,934	
掘削 埋戻し 残土処理		m3	454.9	3,100	1,410,190	
均しコンクリート	18N/mm2-8-25 割増率 6%	m3	9.5	15,700	149,150	材工共
落蓋式U型側溝	400×500×2000 537kg/個	本	339.0	11,300	3,830,700	
落蓋式U型側溝布設工		m	678.0	2,770	1,878,060	
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊 燃料 運転手(特殊)共	日	23.8	29,600	704,480	
蓋	400用 512×110×50	枚	1,356.0	1,300	1,762,800	
蓋据付工		枚	1,356.0	400	542,400	
雑材工	雑材工	式	1.0	121,154	121,154	
第2種U型側溝	500×320×2000 フリューム 127kg/個	m	93.0	10,350	962,700	
掘削 埋戻し 残土処理		m3	39.0	3,100	120,900	
再生クラッシュラン基礎	RC40-0	m3	7.8	4,900	38,220	材工共
均しコンクリート	18N/mm2-8-25 割増率 6%	m3	2.1	15,700	32,970	材工共
フリューム	L=2,000	本	46.0	8,850	407,100	
フリューム	L=1,000	本	1.0	5,000	5,000	
フリューム布設工		m	93.0	2,700	251,100	
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊 燃料 運転手(特殊)共	日	3.3	29,600	97,680	
雑材工		式	1.0	9,730	9,730	

4.1 U型側溝工

計

11,361,634

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

4.2 地下排水工

地下排水工	有孔高密度ポリエチレン管 φ200 L=2000	m	678.0	4,395	2,980,012	
掘削 残土処理	0.45m ³ /m	m ³	305.1	1,130	344,763	
軟弱地盤安定シート(不織布)	2mm ロス10%	m ²	1,501.5	360	540,540	材工共
不織布敷設工		m ²	1,365.0	14	19,110	
砂利敷均工	40mm 単粒4号	m ³	228.2	3,450	787,290	材工共
有孔高密度ポリエチレン管	φ200 L=2,000	m	678.0	1,680	1,139,040	
有孔高密度ポリエチレン管 布設工	φ200 L=2,000	m	678.0	186	126,108	
雑材工		式	1.0	23,161	23,161	

4.2 地下排水工

計

2,980,012

4.3 集水ます工

現場打集水ます	750×750×850	箇所	4.0	14,600	58,390	
掘削 埋戻し 残土処理		式	1.0	3,000	3,000	
再生砕石基礎工	RC40-0	m ³	0.2	4,900	980	材工共
型枠工		m ²	6.5	6,370	41,405	材工共
コンクリート工	18N/mm ² -8-25	m ³	0.6	19,000	11,400	材工共
雑材工		式	1.0	1,605	1,605	

4.3 集水ます工

計

58,390

4 排水工

合計

14,400,036

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

5. 雑工事

5.1 取付道路工

路盤・管渠工一式		m2	563.2	4,500	2,534,400	
----------	--	----	-------	-------	-----------	--

5.1 取付道路工 計 2,534,400

5.2 取付坂道工

路盤・管渠工一式		m2	217.0	5,500	1,193,500	
----------	--	----	-------	-------	-----------	--

5.2 取付坂路工 計 1,193,500

5.3 第1号付替え水路工

ベンチリューム布設	プレキャスト 800×490×1,000	m	123.0	15,570	1,915,498	325kg/個
掘削 埋戻し 残土処理	0.82m3/m	m3	100.9	3,400	343,060	
再生クラッシュラン	RC40-0 材料費のみ	m3	16.0	1,500	24,000	
均しコンクリート	18N/mm2-2-25 材料費のみ	m3	5.0	11,700	58,500	
ベンチリューム	800×490×1,000	本	123.0	9,100	1,119,300	
ベンチリューム布設工	市場単価 砕石敷均し コンクリート工共	m	123.0	2,970	365,310	
雑材工		式	1.0	5,328	5,328	

5.3 第1号付替え水路工 計 1,915,498

5.4 第2号付替え水路工

ベンチリューム布設	プレキャスト 500×320×1,000	m	23.0	10,390	238,931	191kg/個
掘削 埋戻し 残土処理	0.47m3/m	m3	10.8	4,214	45,511	
再生クラッシュラン	RC40-0 材料費のみ	m3	2.0	1,500	3,000	
均しコンクリート	18N/mm2-2-25 材料費のみ	m3	0.5	11,700	5,850	
ベンチリューム	500×320×1,000	本	23.0	5,000	115,000	
ベンチリューム布設工	市場単価	m	23.0	2,970	68,310	
雑材工		式	1.0	1,260	1,260	

5.4 第2号付替え水路工 計 238,931

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

5.5 境界杭工

境界杭建込み	旧建設省型 RC120×120×900	本	128.0	5,440	696,320	
--------	------------------------	---	-------	-------	---------	--

5.5 境界ぐい工	計	696,320
5 雑工事	合計	6,578,649

6. 仮設工

6.1 仮設道路工

現道整正工	5ヶ月×4回	m2	1,200.0	500	600,000	
仮設道路碎石(新設部)	RM30-0 150m×6.0m×0.3	m3	270.0	5,000	1,350,000	材工共
諸雑費		式	1.0	20,150	20,150	

6.1 仮設道路工	1,970,150
6 仮設工	合計 1,970,150

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

7. 運搬費

運搬費	機械器具運搬費	式	1.0		2,504,700	
ブルドーザ運搬	15t級(機械質量14.6t)	台回	4.0	116,000	464,000	20tトレーラ 1台×4回
ブルドーザ運搬	21t級(機械質量21.9t)	台回	5.0	122,000	610,000	25tトレーラ 5台×1回
バックホウ運搬	0.45m ³ (機械質量11.8t)	台回	2.0	100,000	200,000	15tトレーラ 1台×2回
バックホウ運搬	0.80m ³ (機械質量19.8t)	台回	5.0	116,000	580,000	20tトレーラ 5台×1回
トラクタショベル運搬	クローラ式 山積1.4~1.6m ³ (機械質量13.9t)	台回	1.0	100,000	100,000	15tトレーラ 1台×1回
モータグレーダ運搬	3.1m(機械質量10.0t)	台回	1.0	100,000	100,000	自走1台×1回
タイヤローラ運搬	8t~20t (機械質量14.8t)	台回	1.0	100,000	100,000	15tトレーラ 1台×1回
マカダムローラ運搬	10t~12t (機械質量9.3t)	台回	1.0	74,900	74,900	11tセルフ 1台×1回
その他機械運搬	振動ローラ ランマ ポンプ ベルトコンベア等	台回	2.0	74,900	149,800	11tトラック 2台×1回
ポータブル杭打機運搬		台回	1.0	126,000	126,000	28tトレーラ 1台×1回
諸雑費		式	1.0		0	

7 運搬費

計

2,504,700

8. 準備費

準備費		式	1.0		6,210,000	
準備・跡片付け	仮設建物敷地 整地・跡片付け	式	1.0	580,000	580,000	
測量費		式	1.0		1,550,000	
測量器材	トランシット・レベル他	式	1.0	650,000	650,000	
測量手元		式	1.0	900,000	900,000	
伐開除根	処分費別途	m ²	12,000.0	340	4,080,000	

8 準備費

合計

6,210,000

名 称	規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要
-----	-----	----	----	----	-----	-----

9. 役務費

借地費	660m2×7ヶ月	m2月	4,620.0	548	2,531,760	
-----	-----------	-----	---------	-----	-----------	--

9 役務費

合計

2,531,760

10. 安全費

安全費		式	1.0		2,597,382	
各種標識・施設		式	1.0		677,382	
工事表示板	出入口 その他	枚	4.0	22,000	88,000	
お願い看板		枚	13.0	9,750	126,750	
A型バリケード		基	60.0	1,800	108,000	
カラーコーン		基	30.0	1,600	48,000	
単管		m	76.0	65	4,940	
自動点滅灯		個	12.0	2,200	26,400	
自動点滅灯用ロング電池		個	72.0	900	64,800	
工事看板		式	1.0	200,000	200,000	
雑品		式	1.0	10,492	10,492	
交通誘導員	2.0人×20日/月×5箇月	月	5.0	384,000	1,920,000	

10 安全費

合計

2,597,382

11. 技術管理費

技術管理費		式	1.0		2,150,000	
品質管理費		式	1.0	1,000,000	1,000,000	
出来形管理費		式	1.0	400,000	400,000	
工事写真費、 設計図書作成費		式	1.0	750,000	750,000	

11 技術管理費

計

2,150,000

名 称	規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要
-----	-----	----	----	----	-----	-----

12. 営繕費

監督員詰所	特記仕様による	棟	0.0	0	0	
現場事務所	ユニットハウス 2.25m×7.35m 1棟	棟	1.0	448,650	448,650	
損料	1棟×7箇月	棟月	7.0	16,800	117,600	
整備料		棟	1.0	9,850	9,850	
運搬費	往復	回	2.0	60,000	120,000	
組立解体		棟	1.0	33,200	33,200	
什器備品費		月	7.0	24,000	168,000	
現場事務所 プレハブトイレ	大小手洗い付	棟	1.0	198,000	198,000	
プレハブトイレ損料	大小手洗い付 1棟×7箇月	棟月	7.0	6,000	42,000	
プレハブトイレ設置撤去		棟	1.0	36,000	36,000	
プレハブトイレ運搬費	往復	回	2.0	60,000	120,000	
現場プレハブトイレ	大小兼用汲取り式	棟	1.0	208,500	208,500	
プレハブトイレ損料	大小兼用汲取り式 1棟×7箇月	棟月	7.0	7,500	52,500	
プレハブトイレ設置撤去		棟	1.0	36,000	36,000	
プレハブトイレ運搬費	往復	回	2.0	60,000	120,000	
倉庫	ユニットハウス 2.25m×7.35m 7ヶ月	棟	1.0	280,000	280,000	
試験室	ユニットハウス 2.25m×7.35m 7ヶ月	棟	1.0	280,000	280,000	
作業員休憩所	ユニットハウス 2.25m×7.35m 7ヶ月	棟	2.0	280,000	560,000	
作業員プレハブトイレ	大小手洗い付	棟	2.0	198,000	396,000	休憩所脇
作業員プレハブトイレ	大小兼用汲取り式	棟	1.0	172,800	172,800	現場内
プレハブトイレ損料	大小手洗い付 1棟×7箇月 80×30	棟月	7.0	2,400	16,800	
プレハブトイレ設置撤去		棟	1.0	36,000	36,000	
プレハブトイレ運搬費	往復	回	2.0	60,000	120,000	
仮設建物電力設備		式	1.0	300,000	300,000	
仮設建物水道設備		式	1.0	250,000	250,000	
事務所仮囲い	成型鋼板 H=3.0m	m	90.0	12,000	1,080,000	
作業員輸送費	7ヶ月	台月	7.0	205,000	1,435,000	
諸雑費	端数整理	式	1.0	86,500	86,500	

12 営繕費

合計

5,695,450

■ 材料単価表 ■

建設物価:2010・6月号

土木コスト情報:2010・4(春)

品名・規格	規格	単位	単価(円)	備考
再生クラッシュラン	RC-40	m3	1,500	
生コンクリート	18N/mm ² -8-25	m3	11,700	
生コンクリート	21N/mm ² -8-25	m3	11,900	
異形棒鋼	SD295A D13~D16mm	t	64,000	
割ぐり石	150~200	m3	3,300	
RC杭	RC φ 300 L=7,000	本	21,700	
ヒューム管	φ 300 L=2,000	本	7,830	
ヒューム管	φ 600 L=2,430	本	27,700	
ヒューム管	φ 1000 L=2,430	本	73,700	
軟弱地盤安定シート(不織布)	2mm	m2	360	
有孔高密度ポリエチレン管	φ 200 L=2,000	m	1,680	
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊 燃料 運転手(特殊)共	日	29,600	
ラフテレンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型10t吊 燃料 運転手(特殊)共	日	32,000	
落蓋式U型側溝	400×500×2000落し蓋式 537kg/個	本	11,300	
蓋 400用	512×110×50	枚	1,300	
境界杭	旧建設省型 RC120×120×900	本	1,990	
種子吹付け		m2	165	
筋芝		m2	1,240	
鉄筋工	加工組立	t	42,000	
フリューム布設工	500×320×2000 127kg/個	m	2,700	
フリューム布設工	800×490×1000 325kg/個	m	2,970	
境界杭建込み	根巻き基礎有り	本	3,450	